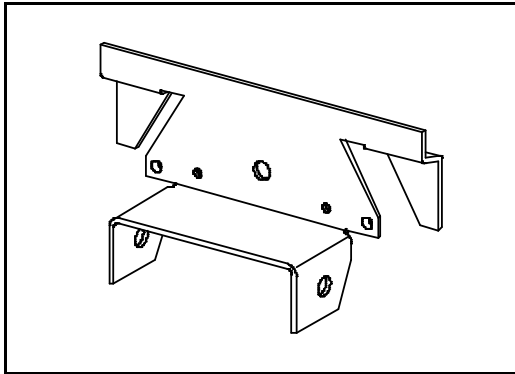


## 試験成績書

製品名：ソエルWカバー

試験項目：野縁方向 一軸加力試験



製品単体



全景

株式会社桐井製作所

開発部 開発グループ

〒100-6605

東京都千代田区丸の内 1-9-2

グラントウキョウサウスタワー5階

Tel: 03-4345-6005

Fax: 03-6895-0220

作成日： 2024/2/9

作成者： 濱崎 源記

検印	作成
下氏	濱崎

# ◇ 試験概要

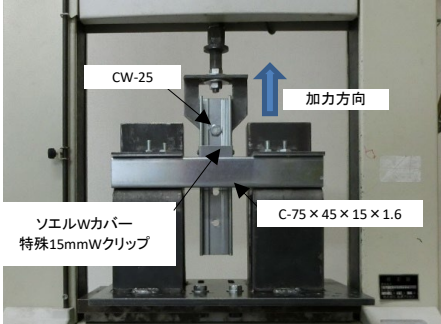
品名 : ソエルWカバー  
試験項目 : 野縁(腹)方向引張  
試験機 : (株)桐井製作所葛西試験場内 (株)島津製作所オートグラフ AGS-JH

試験速度 : 3mm/min  
試験体寸法 : 300mm×250mm  
使用部材 : 支持構造部 : C-75×45×15×1.6  
野縁 : CW-25  
クリップ : 特殊15mmWクリップ  
クリップ補強金具 : ソエルWカバー  
ビス : JPF KIRII耐震ビスφ4×16

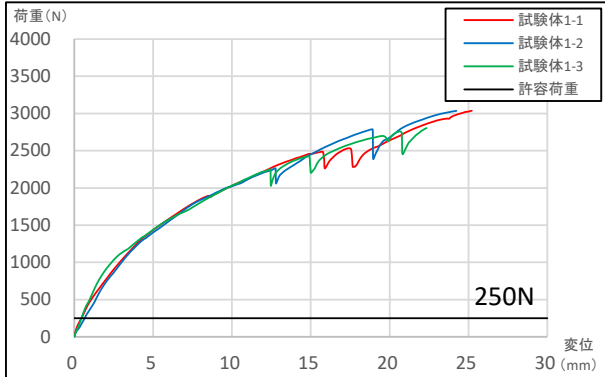
試験方法 : 試験架台に支持スパン150mmで支持構造部(C-75×45×15×1.6)を固定し、支持構造部と野縁(CW-25)をクリップ(特殊15mmWクリップ)とクリップ補強金具(ソエルWカバー)によって接合し、クリップ補強金具をビス(KIRII耐震ビスφ4×16)3本で固定した。野縁に加力治具を固定し、鉛直上向きに加力した際の荷重とストロークを計測した。

評価方法 : 支持構造部方向の試験結果より自社規定として許容荷重を250Nとする。

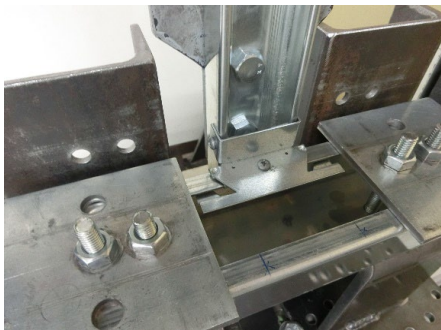
## 全景



# ◇ 荷重-変位曲線



## 加力時の状況



# ◇ 試験結果

	最大荷重	最大荷重時変位	試験挙動
	N	mm	
試験体1-1	3037	25.21	加力に伴い、野縁側面のクリップ補強金具を固定しているビスを支点にクリップ補強金具が回転しつつ変形し、それに伴い野縁が変形した。変形が進行するにつれて野縁が野縁側面のビスによって支圧破壊し、ビスが引き抜かれたことで荷重低下したため終局とした。
試験体1-2	3035	24.23	
試験体1-3	2804	22.34	
平均値	2958	23.93	
最大値	3037	25.21	
最小値	2804	22.34	

## 終局



**∴ 許容荷重 = 250 N**

試験日 : 2018/3/22  
試験者 : 日吉 英雄

検印	作成
下氏	濱崎

# ◇ 試験概要

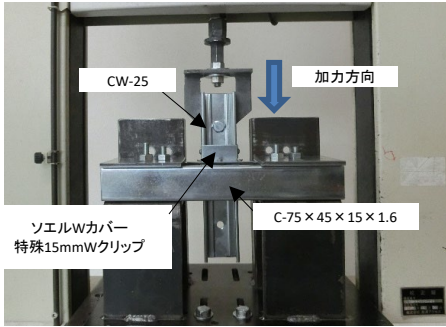
品名 : ソエルWカバー  
試験項目 : 野縁(背)方向圧縮  
試験機 : (株)桐井製作所葛西試験場内 (株)島津製作所オートグラフ AGS-JH

試験速度 : 3mm/min  
試験体寸法 : 300mm×250mm  
使用部材 : 支持構造部 : C-75×45×15×1.6  
野縁 : CW-25  
クリップ : 特殊15mmWクリップ  
クリップ補強金具 : ソエルWカバー  
ビス : JPF KIRII耐震ビスφ4×16

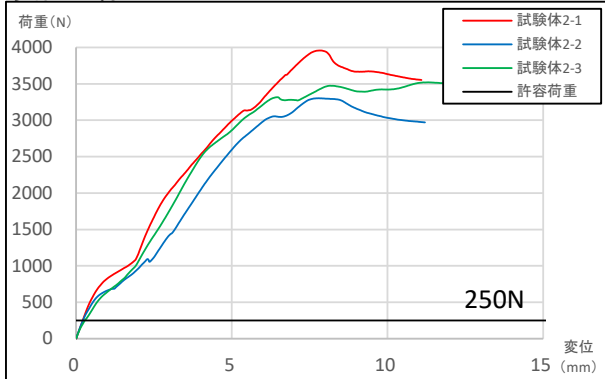
試験方法 : 試験架台に支持スパン150mmで支持構造部(C-75×45×15×1.6)を固定し、支持構造部と野縁(CW-25)をクリップ(特殊15mmWクリップ)とクリップ補強金具(ソエルWカバー)によって接合し、クリップ補強金具をビス(KIRII耐震ビスφ4×16)3本で固定した。野縁に加力治具を固定し、鉛直下向きに加力した際の荷重とストロークを計測した。

評価方法 : 支持構造部方向の試験結果より自社規定として許容荷重を250Nとする。

## 全景



# ◇ 荷重-変位曲線



## 加力時の状況



# ◇ 試験結果

	最大荷重	最大荷重時変位	試験挙動
	N	mm	
試験体2-1	3957	7.81	加力に伴い、クリップ補強金具が変形し、野縁が局部座屈したことにより荷重低下したため、終局とした。
試験体2-2	3302	7.78	
試験体2-3	3522	13.55	
平均値	3593	9.72	
最大値	3957	13.55	
最小値	3302	7.78	

## 終局



∴許容荷重 = 250 N

試験日 : 2018/3/22  
試験者 : 日吉 英雄

検印	作成
下氏	濱崎

# ◇ 試験概要

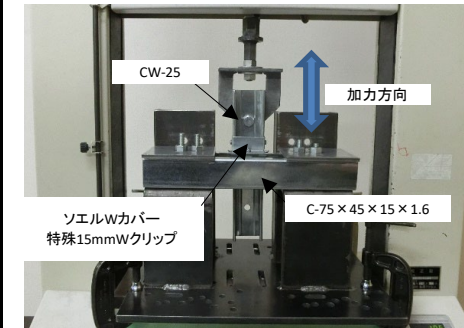
品名 : ソエルWカバー  
試験項目 : 野縁方向繰返し  
試験機 : (株)桐井製作所葛西試験場内 (株)島津製作所オートグラフ AGS-JH

試験速度 : 3mm/min  
試験体寸法 : 300mm×250mm  
使用部材 : 支持構造部 : C-75×45×15×1.6  
野縁 : CW-25  
クリップ : 特殊15mmWクリップ  
クリップ補強金具 : ソエルWカバー  
ビス : JPF KIRII耐震ビスφ4×16

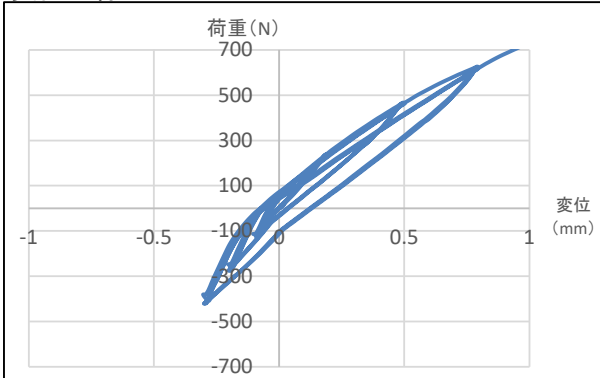
試験方法 : 試験架台に支持スパン150mmで支持構造部(C-75×45×15×1.6)を固定し、支持構造部と野縁(CW-25)をクリップ(特殊15mmWクリップ)とクリップ補強金具(ソエルWカバー)によって接合し、クリップ補強金具をビス(KIRII耐震ビスφ4×16)3本で固定した。野縁に加力治具を固定し、野縁を鉛直上向きを正、下向きを負として繰返し変位毎に3サイクル加力し、このときの荷重とストローク変位を計測する。制御変位の算定には、支持構造部方向の結果より許容荷重250Nとして算定した。

繰返し変位 : 0.5D : 0.2mm -0.5D : -0.1mm  
1.0D : 0.5mm -1.0D : -0.2mm  
1.5D : 0.8mm -1.5D : -0.3mm

## 全景



# ◇ 荷重-変位曲線



## 加力時の状況(1.0D圧縮終了時)



# ◇ 試験結果

	0.5D変位時 荷重(N)		1.0D変位時 荷重(N)		1.5D変位時 荷重(N)		引き切り (N)	終局状況
	引張	圧縮	引張	圧縮	引張	圧縮		
	0.2mm	-0.1mm	0.5mm	-0.2mm	0.8mm	-0.3mm		
1回目	229.5	-123.6	463.8	-261.9	626.8	-420.7	1948.0	加力に伴い、野縁側面のクリップ補強金具を固定しているビスを支点にクリップ補強金具が回転し、つつ変形し、それに伴い野縁が変形した。変形が進行するにつれて野縁が野縁側面のビスによって支圧破壊し、ビスが引き抜けたことで荷重低下したため終局とした。
2回目	236.6	-117.4	462.0	-274.5	618.5	-419.6		
3回目	239.1	-130.5	466.3	-268.9	616.1	-422.2		

# ◇ 試験結果判定

## ・判定条件

$$1.5D変位時最小試験力 > \frac{\text{一方向載荷より求めた損傷荷重}}{\times 0.8}$$

## ・判定

引張方向 : 616.1 > 300.0 (= 375N × 0.8) → OK

圧縮方向 : 419.6 > 300.0 (= 375N × 0.8) → OK